

第3学年 社会科学習指導案

対 象 3年3組 男17名, 女20名 計37名

指導者 鈴木 祐平

1 単元名 働く人とわたしたちの暮らし

「2 工場で働く人と仕事」(教育出版 小学社会 3・4上)

副読本 (わたしたちのたきざわ)

2 単元について

(1) 児童について

本単元にかかわる学習について、事前アンケートやテストを行ったところ、次のような結果となった。

工場とはどのようなものか知っていますか。	知っている	38%
	知らない	62%
写真や地図などから、地域や市の特色、地域の人々の生活について考えることができる。	A (85%以上)	49% (18人)
	B (60%以上)	43% (16人)
	C (59%以下)	8% (3人)
地図から必要なことを見つけることができる。	A (85%以上)	76% (28人)
	B (60%以上)	19% (7人)
	C (59%以下)	5% (2人)
地図記号や方位などが分かる。	A (85%以上)	86% (32人)
	B (60%以上)	14% (5人)
	C (59%以下)	0% (0人)

この結果から社会的な思考力・判断力・表現力が弱点ということがうかがえる。そこで、見学してきたことや写真資料などから、仕事に携わっている人たちの工夫について考え、発表する活動を通して社会的なものの見方を養いたいと考え、本単元を設定した。

(2) 教材について

本教材は、「働く人とわたしたちの暮らし」という大単元の中に「店で働く人と仕事」と「工場で働く人と仕事」の2つの小単元を組み合わせ構成されている。

「店で働く人々と仕事」では、児童の生活に身近なスーパーマーケットを取り上げる。見学とインタビュー活動を取り入れ、スーパーマーケットで働く人の工夫や思いなどを捉えさせる。また、「工場で働く人と仕事」では、前単元の地域の様子を見学し、人々の生活とのかかわりについて考えた経験を生かしながら、精密機械工場のミクニと農林業機械工場のやまびこの見学やインタビューをより具体的なものにするとともに、工場と地域のつながりへと学習を発展させていく。児童が今後社会科を学習していく上で求められる、社会的なものの見方や考え方の基礎を育てるために適した教材である。

(3) 指導について

前単元の「店で働く人と仕事」では、学区のスーパー「マイヤ」での見学とインタビューから、店で働く人の工夫や思いを学ぶことができた。それをもとに、本単元では働く人への共感的理解や地域との結び付きについて学習が深まるようにしたい。また、前単元と同様に、見学やインタビュー活動を取り入れることで興味・関心を高め、資料や見学からの気づきをうながし児童が主体的に調べるようにさせたい。そして、自分の考えをもった上で、友達の気づきのよさにもふれ、お互いの考えを交流することで理解が深まるようにしたい。

3 単元の目標

(1) 社会的事象への関心・意欲・態度

滝沢市で行われている生産活動に関心をもち、意欲的に調べることができる。

(2) 社会的な思考・判断・表現

滝沢市で行われている生産活動の様子から学習問題を見つけて追究し、滝沢市での生産活動の特色やそれらの仕事に携わっている人々の工夫について考えたことを適切に表現することができる。

(3) 観察・資料活用の技能

滝沢市で行われている生産活動の様子を的確に見学・調査したり、具体的資料を活用したりして必要な情報を集め、読み取ることができる。

(4) 社会的事象についての知識・理解

滝沢市で行われている生産活動には、原料や製品を通した他地域や外国とのつながり、働く人の工夫や努力があることを理解することができる。

4 指導と評価の計画

時	学習内容	主な評価規準	
小 3	1	工場見学の計画を立てる。	機械づくりについて詳しく調べようとする意欲をもつ。(関)
	2	ミクニの見学に行く。	自分たちで話し合った観点に基づいて見学したり、話を聞き取ったりしている。(技)
	3	精密機械をどのように作っているか理解する。	ミクニでは、精密機械をどのような工程で作っているか理解する。(知)
	4 【本時】	ミクニで働く人たちが、どのようなことに気を付けて働いているかとらえる。	働く人の服装や仕事の様子などから働く人と使う人の安全に気を付けていることに気付く。(思)
	5	やまびこの見学に行く。	自分たちで話し合った観点に基づいて見学したり、話を聞き取ったりしている。(技)
	6	農林業用機械をどのように作っているか理解する。	やまびこでは、農林業用機械をどのような工程で作っているか理解する。(知)
	7	やまびこで働く人たちが、どのようなことに気を付けて働いているかとらえる。	働く人の服装や仕事の様子などから働く人と使う人の安全に気を付けていることに気付く。(思)
	8	工場では、働きやすい環境を整えていることをとらえる。	工場には働きやすくするための様々な工夫があることが分かる。(知)
	9	材料はどこから来て、作られたものはどこに行くのか調べ、滝沢市のどんなところに工場があるのか考える。	機械の原料が運ばれてくる地域や、製品の配送先を調べて、滝沢市と国内外の他地域とのつながりや工場の立地の工夫に気付く。(思) 機械が運ばれてくる地域や配送先、工場の立地条件について地図や資料から読み取ったり、地図に表したりする。(技)
	10	見学や学習して分かったことをまとめる。	二つの工場を見学、学習して分かったことを観点に沿って出し合い、それらを分類したり、関連付けたりしながらまとめている。(技)
	11 12	分かったことをパンフレットにまとめる。	工場の仕事自分たちとかかわりがあり、自分たちの暮らしを支えていることをパンフレットに表現することができる。(思)
	小5	日本の工業生産が、国民生活を支える重要な役割を果たしていることを理解する。 【工業生産を支える人々】	日本の工業生産の様子に関心をもち、意欲的に調べている。(関) 工業生産の様子と国民生活のかかわりを考え、適切に表現している。(思) 地図や地球儀、統計などの資料を活用して、必要な情報を集め、読み取っている。(技) 日本の工業の様子、工業と国民生活とのかかわりを理解している。(知)

5 本時の指導

(1) 目標

ミクニで働く人たちが生産者と消費者の安全に気を付けて製品を生産していることに気付くことができる。

(2) 評価規準

評価の観点	評価規準
社会的な 思考力・判断力・表現力	働く人の服装や仕事の様子などから働く人と使う人の安全に気を付けていることに気付く。

(3) 展開

段階	学習活動	●指導上の留意点 ◎評価
導入 5分	<p>1 前時の想起</p> <p>○前時の学習の側面揭示（製品ができるまでの工程）から、本時では働く人の工夫について学習することを把握する。</p> <p>2 課題の確認</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> ミクニではたらく人たちは、どのようなことに気を付けているのだろう。 </div>	<p>●本時では、働く人に着目することを確認できるようにする。</p>
展開 33分	<p>3 見通し</p> <p>○課題に対する答えを予想する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・安全につくること。 ・正しくつくること。 <p>4 課題の解決</p> <p>(1) 完成した製品のチェックをしている写真を見て、働く人が気を付けていることを読み取る。</p> <p>(2) 考えたことを交流する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グループ ・全体 <p>(3) 働く人が気を付けていることを確かめる。</p> <p>5 まとめ</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> ミクニで働く人たちは、働く人と使う人の安全に気を付けている。 </div>	<p>●見学してきたことを基にして、考えをもてるようにする。</p> <p>●これまでの学習から、写真のどのようなところに注目すればよいか振り返り、全員が視点をもって活動できるようにする。</p> <p>●友達の考えたことを自分の考えと比べることで、自分の考えを広げたり深めたりできるようにする。</p> <p>●写真やインタビューの内容を資料として提示し、働く人たちが製品を使う人の安全にも配慮していることを確かめる。</p> <p>◎働く人の服装や仕事の様子、見学してきたことなどから働く人と使う人の安全に気を付けていることに気付く。 〔ノート〕</p>

終末 7分	6 振り返り	●分かったことや気付いたこと、友達のよさなどについて、本時で思ったことを文にまとめ、学びを実感できるようにする。
	<p>【振り返り 例】</p> <p>ミクニで働く人たちが自分たちだけでなく、使う人の安全にも気を付けて機械を作っていることが分かりました。</p> <p>班のみんなが見学してきたことも話したので、わたしも工場には安全のためにたくさんの工夫があることに気付くことができました。</p>	
	7 次時の確認	●やまびこへ見学に行くことを伝え、意欲をもてるようにする。

(4) 板書計画

